

2015年8月27日～31日 北京での活動を含めた緑化植林訪中リポート

2015年度の緑化植林事業で特筆したい事として、8月下旬の27～29日北京で、会長の海江田万里を団長として植林訪中団総勢14名が中国側パートナーの全青連本部を訪れ青年団トップの秦宣智第一書記や周長圭副主席と懇談が出来ました。会談では小淵元総理が肝いりで平成11年に創設され、爾来15年間の輝かしい実績を上げた「日中緑化交流基金」が東アジアの自然環境保護へ貢献した業績を高く評価し、今後も可能な限り共に継続していくことが重要と合意されています。

更に、中国共産党中央連絡部の本部を尋ね、劉洪才副部長と会見が出来、旧知の海江田会長と親密な歓談がもたれ、基金創設後15年間の「日中緑交流化基金」が果たした植林事業が東アジアの自然環境改善のみか日中民間の青年友好交流にも多大に貢献したことが再確認されました。席上海江田会長より歴史問題に関して、“中国が戦後日本へ与えた恩恵（賠償権の放棄・戦争孤児を養育してくれた中国人養父母・戦犯の死刑執行皆無）、片や中国の発展を支援し日本が欧米に先駆けて行った様々な経済と技術援助、身近では微力ですが我々が行っている「日中緑化基金」による15年間の交付金事業、等々に重きを置いて注視すべきで、これら過去の好ましい事柄を基礎にプラス思考で両国人民が二度と戦争を起さない様に友好交流を重ね相互理解や平等互惠を深く進めたいと声明した。

28日～30日海江田会長引率の植林現地訪問班8名、陸路・空路で北京～通遼～黒龍江省チチハル市泰来県を巡回した。各地の現場視察と（補植）植え込み作業に参加、記念礎石の除幕式を行うなど、2日間の植林現地視察と懇談訪問を無事に終了。



片や30日～9月2日、黒龍江省双鴨山市饒河県・撓力河の現場2カ所について、理事長以下理事2名と会員1名の4名が担当し、航空便と列車を乗り継ぎ植林地を巡り植林事業の進捗状況の確認と打ち合わせ等を無事に終了。

上記の通り例年の植林現場作業への参加とは別途、今回は海江田会長のハイレベルな政治力を借り、北京市内での2

日間中国政府上層部へ「日中緑化基金」の活動全般への認識を深めることが出来き、改めて中国政府や社会へ「日中緑化交流基金の活動」に対しての認識と評価を高める成果をあげた事をご報告申し上げます。

— 以上 —